

アクアサービス（株） 御中

アクアリフトについての  
魚類による急性毒性試験

結 果 報 告 書

平成 23 年 11 月

株式会社 新日本環境コンサルタント



## アクアリフトの魚類による急性毒性実験

### 1. 実施場所

(株) 新日本環境コンサルタント 分室実験室

### 2. 実施期間

平成 23 年 11 月 18 日～11 月 22 日

### 3. 委託者

アクアサービス (株)

### 4. 受託者

(株) 新日本環境コンサルタント

### 5. 実験の目的

水環境浄化用バイオ製剤、アクアリフトの魚類による急性毒性を検討する。

### 6. 実験方法

ガラス製の 1 リットルビーカーに曝気して脱塩素した水道水 1 リットルを入れ、アクアリフトを実際に使用する濃度 (1～2g/m<sup>3</sup>) の 100 倍濃度になるように 1 リットルに 0.2g 添加した。これにヒメダカ 10 尾を入れ、24,48,72,96 時間後に生息数を測定した。実験は 25℃の恒温室で実施した。

### 7. 結果と考察


実験結果を表 1 に示す。96 時間の観測の結果でもヒメダカは 1 尾もへい死しなかった。アクアリフトは実際に使用する濃度の 100 倍でもへい死魚は 0%であり、魚類に対する急性毒性は認められなかった。

表 1 実験結果

経過時間 (Hr)	生息数／供試数	
	アクアリフト 0.2g/L	対照実験
24	10 / 10	10 / 10
48	10 / 10	10 / 10
72	10 / 10	10 / 10
96	10 / 10	10 / 10

以上

# アクアリフトの魚類による急性毒性実験結果

福岡市南区長丘3丁目25番15号  
株式会社 新日本環境コンサルタント  
工学博士 技術士（衛生工学部門）  
徳永 隆司 

JIS K 0102(2008) 71 魚類による急性毒性試験に基づいて試験を実施した結果は以下のとおりであった。アクアリフトの実際の使用濃度の100倍濃度（0.2g/L）において、96時間後、供試魚はすべて生息し、急性毒性は認められなかった。

## 実験結果

経過時間 (Hr)	生息魚数／供試魚数	
	アクアリフト 0.2g/L	対照実験
24	10／10	10／10
48	10／10	10／10
72	10／10	10／10
96	10／10	10／10

## 実験条件

実験期日：平成23年11月18日～22日

実験濃度：1リットル当たりアクアリフト0.2g（通常使用濃度の100倍）

供試魚：ヒメダカ 10尾

使用水：水道水を曝気し、残留塩素を除去した水

実験温度：25℃

以上

# アクアリフトの魚類による急性毒性試験

## 実験写真

平成23年11月18日 ~ 11月22日

No. 1

アクアリフト魚毒試験

ヒメダカ

供試魚

平成23年11月18日



No. 2

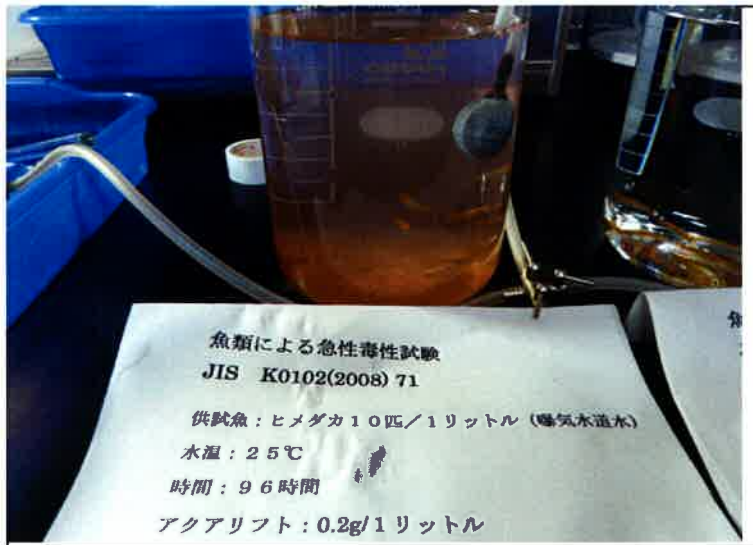
アクアリフト魚毒試験

アクアリフト

0.2g/1リットル

0時間 (10尾供試)

平成23年11月18日



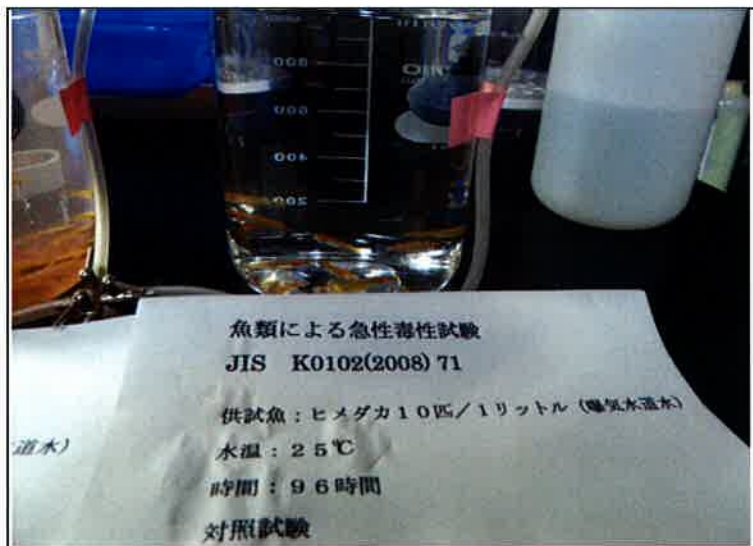
No. 3

アクアリフト魚毒試験

対照試験

0時間 (10尾供試)

平成23年11月18日



No. 4

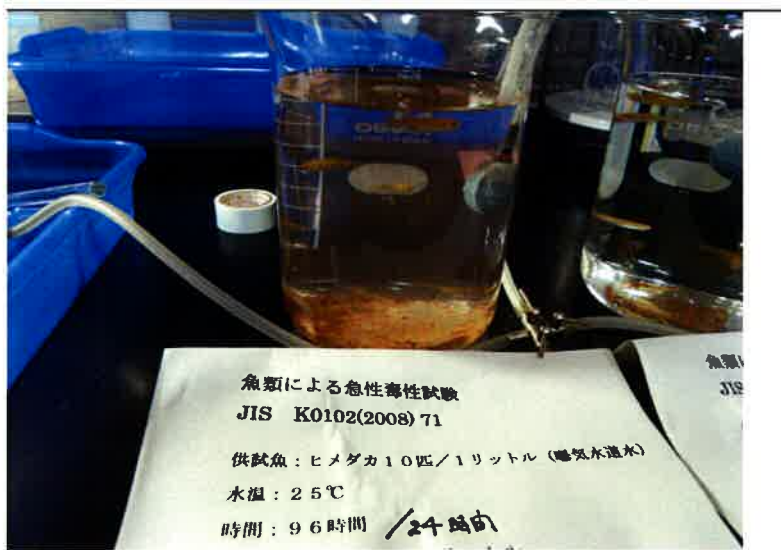
アクアリフト魚毒試験

アクアリフト

0.2g/1リットル

24時間 (10尾生息)

平成23年11月19日



No. 5

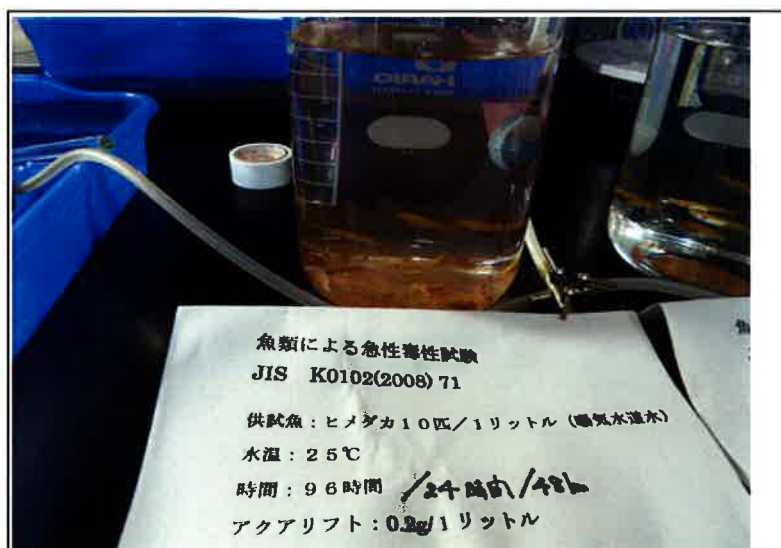
アクアリフト魚毒試験

アクアリフト

0.2g/1リットル

48時間 (10尾生息)

平成23年11月20日



No. 6

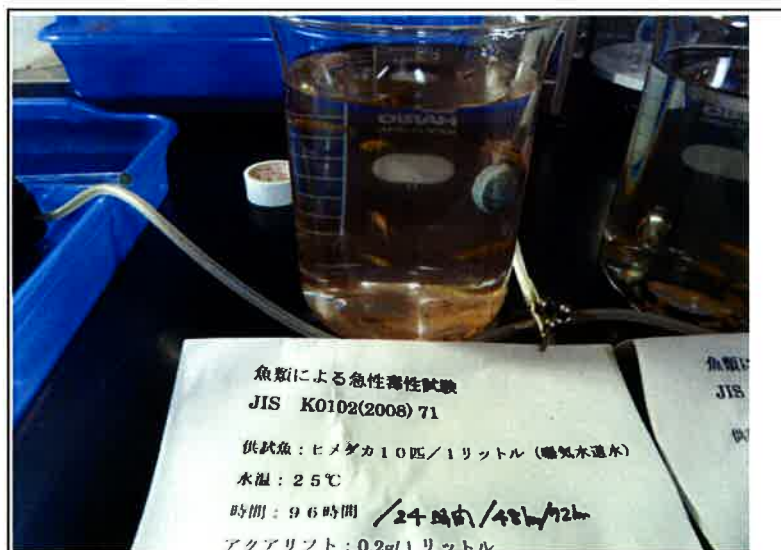
アクアリフト魚毒試験

アクアリフト

0.2g/1リットル

72時間 (10尾生息)

平成23年11月21日



No. 7

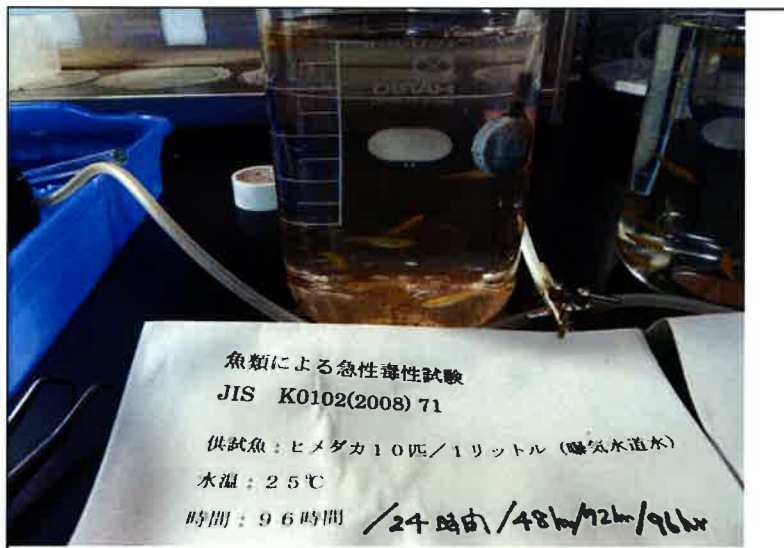
アクアリフト魚毒試験

アクアリフト

0.2g/1リットル

96時間 (10尾生息)

平成23年11月22日



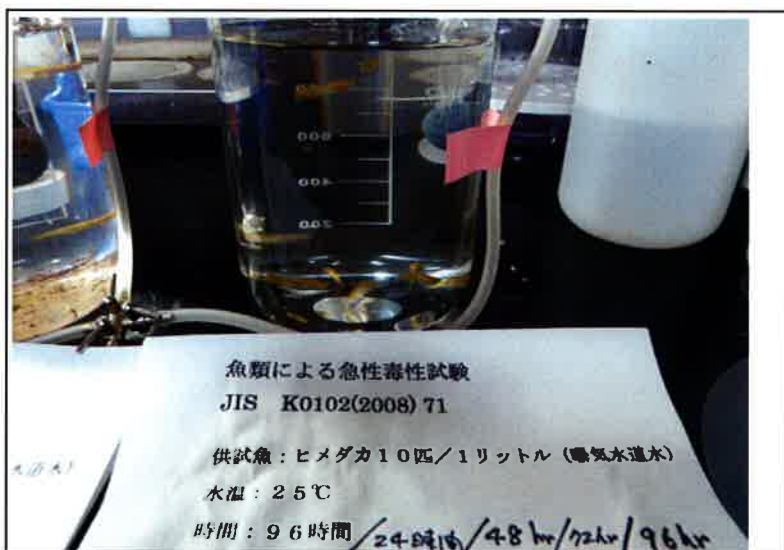
No. 8

アクアリフト魚毒試験

対照試験

96時間 (10尾生息)

平成23年11月22日



No. 9

アクアリフト魚毒試験

供試アクアリフト

平成23年11月22日

